



Seamless, Energy, Relations & Activation

未来のエネルギーネットワークをデザインする
“SERAカンパニー”へ！

東光高岳グループ 2026年3月期 決算補足資料

2026年4月28日

東証プライム市場（6617）

代表取締役社長 一ノ瀬 貴士



2025年度通期決算概要

1. 2025年度業績概要・事業セグメント構成比 ＜対前年度比較＞
2. 2025年度各事業セグメントの状況 ＜対前年度比較＞
3. 2025年度業績概要 ＜対予想比較（2026.1.30公表値との比較）＞
4. 2026年度業績予想 ＜対前年度比較＞
5. 配当の状況
6. 受注高の状況

1. 2025年度 業績概要 ＜対前年度比較＞



当社は、当連結会計年度（2026年3月期）において、営業利益、経常利益で過去最高の業績を達成いたしました。

- 連結売上高につきましては、計量事業、光応用検査機器事業が減少したものの、電力機器事業の特別高圧受変電設備プラント物件やGXソリューション事業のPPP／PFI事業の増加などにより、**112,093百万円（前年同期比5.1%増）**となりました。
- 利益面では、売上高の増加に伴い、**営業利益9,763百万円（前年同期比60.2%増）**、**経常利益10,084百万円（前年同期比60.0%増）**、**親会社株主に帰属する当期純利益6,602百万円（前年同期比72.7%増）**といずれも増益となりました。

（単位：百万円）

	2025年度 実績(A)	2024年度 実績(B)	増減 (A)-(B)	前年比
売上高 ※	112,093	106,624	+5,469	+5.1%
営業利益	9,763	6,094	+3,668	+60.2%
経常利益	10,084	6,302	+3,782	+60.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,602	3,824	+2,778	+72.7%
※ うち東京電力パワーグリッド殿向け売上高	43,862	44,969	▲ 1,107	▲ 2.5%
パワーグリッド殿向け売上高構成比	39.1%	42.2%	▲ 3.0%	▲ 7.2%
受注高	115,071	106,311	+8,759	+8.2%

1. 2025年度 業績概要

事業セグメント構成比 (2025年度 売上高)



光応用検査機器事業セグメント

三次元検査装置など

1% (2%)

不動産賃貸

G Xソリューション事業セグメント

11% (10%)

エネルギーマネジメントシステム (EMS) 関連 (マンション、テナント向け自動検針システム、照明・空調の省エネ制御システム、スマートグリッド向けシステム)、充電インフラ (電気自動車用急速充電器) 情報関連機器、プロポーザル関連事業など

【連結子会社】
株式会社ミントウェブ

その他の事業 **1%** (1%)

電力機器事業セグメント

57% (56%)

電力プラント機器 (プラント一式取り纏め、大型変圧器、開閉装置、制御装置、断路器)、配電機器 (開閉器、小型変圧器、配自用制御器)、受変電設備の工事など

【連結子会社】
タカオカエンジニアリング株式会社
タカオカ化成工業株式会社
東光器材株式会社

2025年度売上高
セグメント構成比
1,120億円
(1,066億円)

計量事業セグメント

30% (31%)

スマートメーター、スマートメーターアセンブリセンター (SMAC)、取引用変成器、計量工事 (電力メーター取替工事) など

【連結子会社】
ワットラインサービス株式会社
蘇州東光優技電気有限公司
東光東芝メーターシステムズ株式会社

() 内は2024年度売上高構成比

1. 2025年度 業績概要 – 売上高の状況 –

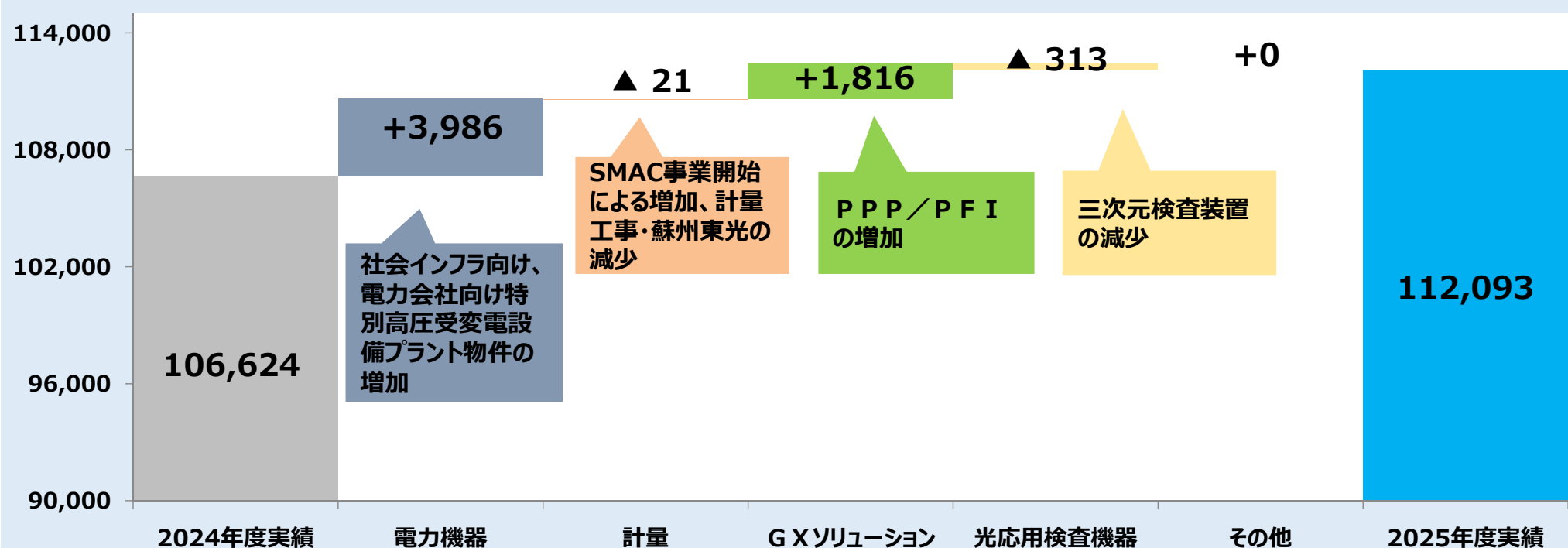
<対前年度比較>



【セグメント別 売上高】

(単位：百万円)

セグメント名	2025年度		2024年度		前年比	
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業	63,864	57.0%	59,878	56.1%	+3,986	+6.7%
計量事業	33,212	29.6%	33,234	31.2%	▲ 21	▲ 0.1%
G Xソリューション事業	12,370	11.0%	10,553	9.9%	+1,816	+17.2%
光応用検査機器事業	1,666	1.5%	1,979	1.9%	▲ 313	▲ 15.8%
その他の事業（不動産賃貸）	979	0.9%	978	0.9%	+0	+0.1%
セグメント別売上高 合計	112,093	-	106,624	-	+5,469	+5.1%



1. 2025年度 業績概要 – 利益の状況 –

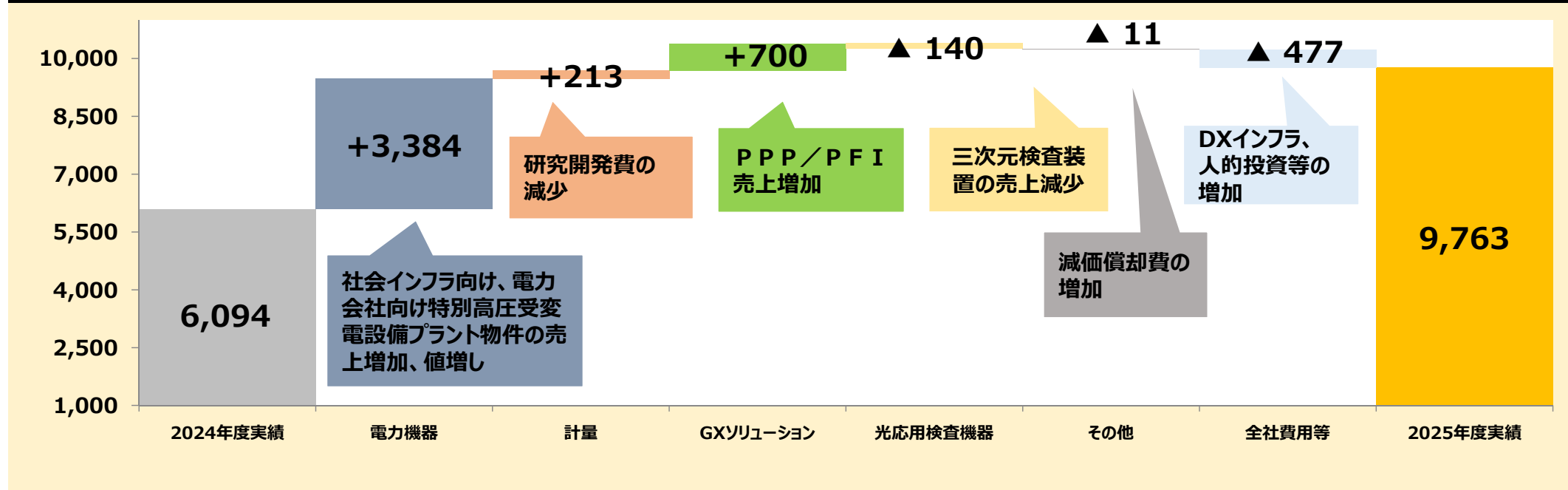
<対前年度比較>



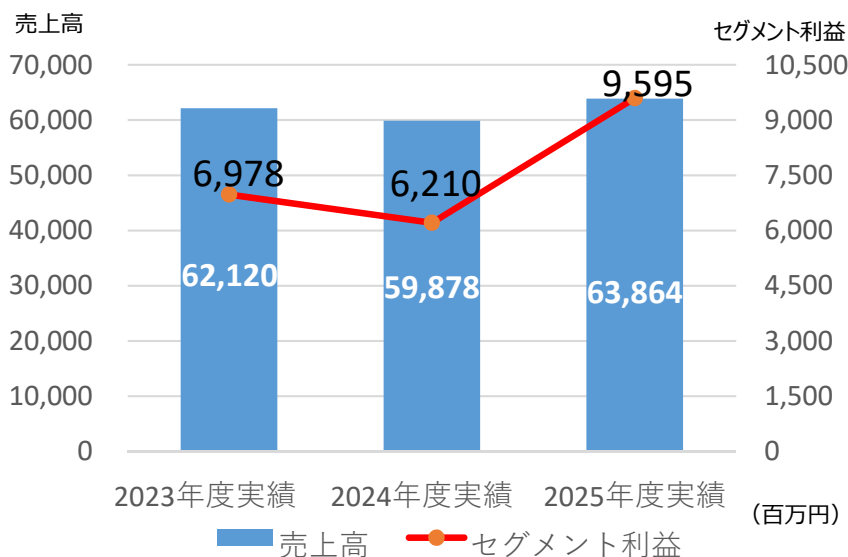
【セグメント別 利益】

(単位：百万円)

セグメント名	2025年度		2024年度		前年比	
	金額(A)	利益率	金額(B)	利益率	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業	9,595	+15.0%	6,210	+10.4%	+3,384	+54.5%
計量事業	4,591	+13.8%	4,378	+13.2%	+213	+4.9%
G Xソリューション事業	493	+4.0%	▲ 206	▲ 2.0%	+700	+338.6%
光応用検査機器事業	97	+5.9%	238	+12.1%	▲ 140	▲ 59.0%
その他の事業 (不動産賃貸)	622	+63.6%	633	+64.8%	▲ 11	▲ 1.7%
セグメント別利益 合計	15,400	+13.7%	11,254	+10.6%	+4,146	+36.8%
全社費用等 (連結調整含む)	▲ 5,637	-	▲ 5,160	-	▲ 477	-
営業利益	9,763	+8.7%	6,094	+5.7%	+3,668	+60.2%



2. 各事業セグメントの状況 ＜対前年度比較＞



電力機器事業セグメント

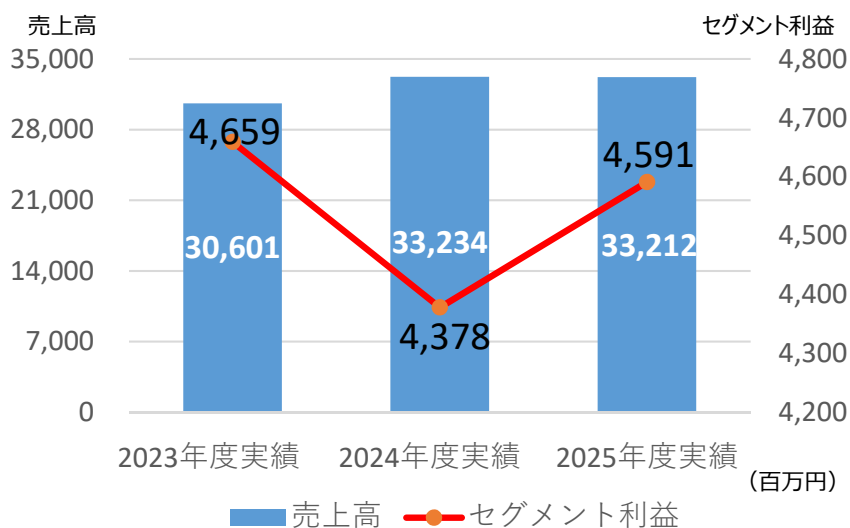
	2025年度実績(A)	2024年度実績(B)	増減(A)-(B)	前年比 (%)
売上高	63,864	59,878	+3,986	+6.7%
セグメント利益	9,595	6,210	+3,384	+54.5%

売上

【増加要因】 社会インフラ向け、電力会社向け特別高圧受変電設備プラント物件
【減少要因】 海外工事物件

利益

【増加要因】 社会インフラ向け、電力会社向け特別高圧受変電設備プラント物件の売上増、値増し
【減少要因】 -



計量事業セグメント

	2025年度実績(A)	2024年度実績(B)	増減(A)-(B)	前年比 (%)
売上高	33,212	33,234	▲21	▲0.1%
セグメント利益	4,591	4,378	+213	+4.9%

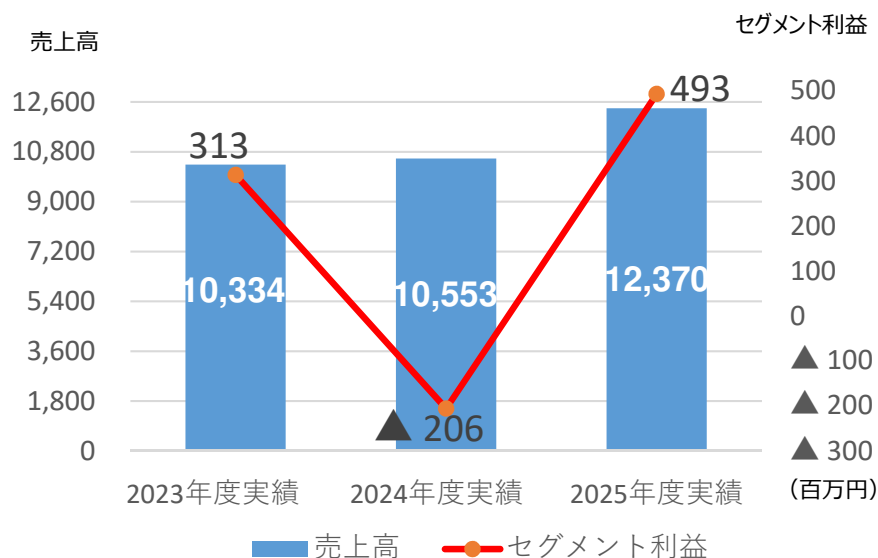
売上

【増加要因】 スマートメーターアセンブリセンター(SMAC)、取引用変成器
【減少要因】 計量工事、蘇州東光

利益

【増加要因】 スマートメーターアセンブリセンター(SMAC)、取引用変成器の売上増、研究開発費の減
【減少要因】 計量工事、蘇州東光の売上減

2. 各事業セグメントの状況 ＜対前年度比較＞



G Xソリューション事業セグメント

(百万円)

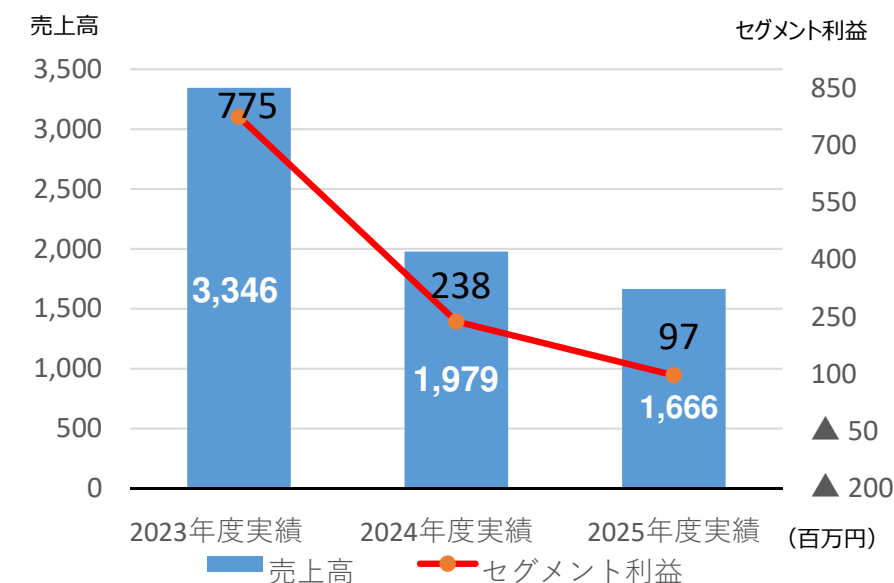
	2025年度 実績(A)	2024年度 実績(B)	増減 (A) - (B)	前年比 (%)
売上高	12,370	10,553	+1,816	+17.2%
セグメント利益	493	▲206	+700	+338.6%

売上

【増加要因】 PPP/PFI
【減少要因】 EMS関連

利益

【増加要因】 PPP/PFIの売上増
【減少要因】 EMS関連の売上減



光応用検査機器事業セグメント

(百万円)

	2025年度 実績(A)	2024年度 実績(B)	増減 (A) - (B)	前年比 (%)
売上高	1,666	1,979	▲313	▲15.8%
セグメント利益	97	238	▲140	▲59.0%

売上

【増加要因】 -
【減少要因】 三次元検査装置

利益

【増加要因】 -
【減少要因】 三次元検査装置の売上減

3. 2025年度 業績概要

<対予想比較（2026.1.30公表値との比較）>



- 売上高につきましては、計量事業セグメントにおいて第2世代スマートメーターの出荷減があったものの、電力機器事業セグメントが順調に進捗したことから、前回予想比93百万円増で着地しました。
- 利益面では、第3四半期累計期間に引き続き、電力機器事業セグメントにおいて利益率の高い特別高圧受変電機器の保守・メンテナンス案件が順調に進捗しました。加えて、計量事業セグメントにおける第2世代スマートメータ生産ラインの立上げ遅れによる減価償却費の計上開始時期の後ろ倒し、ならびにGXソリューション事業セグメントにおけるEMSの原価改善もあり、利益は前回予想比1,463百万円増で着地しました。

(単位：百万円)

		2025年度 実績 (A)	2025年度 業績予想 (B)	増減 (A)-(B)	予想比
売上高 ※		112,093	112,000	+93	+0.1%
内 訳	電力機器事業	63,864	63,600	+264	+0.4%
	計量事業	33,212	33,500	▲ 288	▲ 0.9%
	G Xソリューション事業	12,370	12,300	+70	+0.6%
	光応用検査機器事業	1,666	1,700	▲ 34	▲ 2.0%
	その他の事業（不動産賃貸）	979	900	+79	+8.8%
営業利益		9,763	8,300	+1,463	+17.6%
内 訳	電力機器事業	9,595	9,300	+295	+3.2%
	計量事業	4,591	4,300	+291	+6.8%
	G Xソリューション事業	493	300	+193	+64.3%
	光応用検査機器事業	97	100	▲ 3	▲ 3.0%
	その他の事業（不動産賃貸）	622	600	+22	+3.7%
全社費用等		▲5,637	▲6,300	+663	-
経常利益		10,084	8,500	+1,584	+18.6%
親会社株主に帰属する当期純利益		6,602	5,200	+1,402	+27.0%
※ うち東京電力パワーグリッド殿向け売上高		43,862	43,500	+362	+0.8%
パワーグリッド殿向け売上高構成比		39.1%	40.3%	▲ 1.2%	-

4. 2026年度 業績予想



今後の業績予想につきましては、電力機器事業及び計量事業の両セグメントにつき次の事業環境の進展を見込んでおります。

■ **電力機器事業セグメント** 特別高圧受変電設備分野では、電力ネットワークの更新需要やエネルギーインフラ投資の拡大を背景に、2026年度の増収増益を見込んでおります。電力会社による設備更新投資に加え、蓄電所向け受変電設備など社会インフラ分野での需要拡大を背景に、安定的な売上確保が可能な事業基盤が整いつつあります。

■ **計量事業セグメント** スマートメーター分野では、2025年度期中から順次、各電力会社で第2世代スマートメーターの導入が開始される中で、計画に対して一時的な出荷減少があったものの、2026年度以降は販売回復を見込んでおります。また、SMAC事業の本格稼働による新たな安定収益基盤の構築に加え、東光東芝メーターシステムズの生産ライン刷新を通じたコスト競争力の強化により、第2世代スマートメーターにおける全電力会社での市場シェア拡大を目指してまいります。変成器分野においても、採算重視の営業展開および原価改善の効果により、収益性の向上を見込んでおります。

(単位：百万円)

	2026年度 予想(A)	2025年度 実績(B)	増減 (A)-(B)	前年比
売上高 ※	115,000	112,093	+2,907	+2.6%
営業利益	10,000	9,763	+237	+2.4%
経常利益	10,100	10,084	+16	+0.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,000	6,602	+3,398	+51.5%
※ うち東京電力パワーグリッド殿向け売上高	47,400	43,862	+3,538	+8.1%
パワーグリッド殿向け売上高構成比	41.2%	39.1%	+2.1%	+5.4%
受注高	119,300	115,071	+4,229	+3.7%

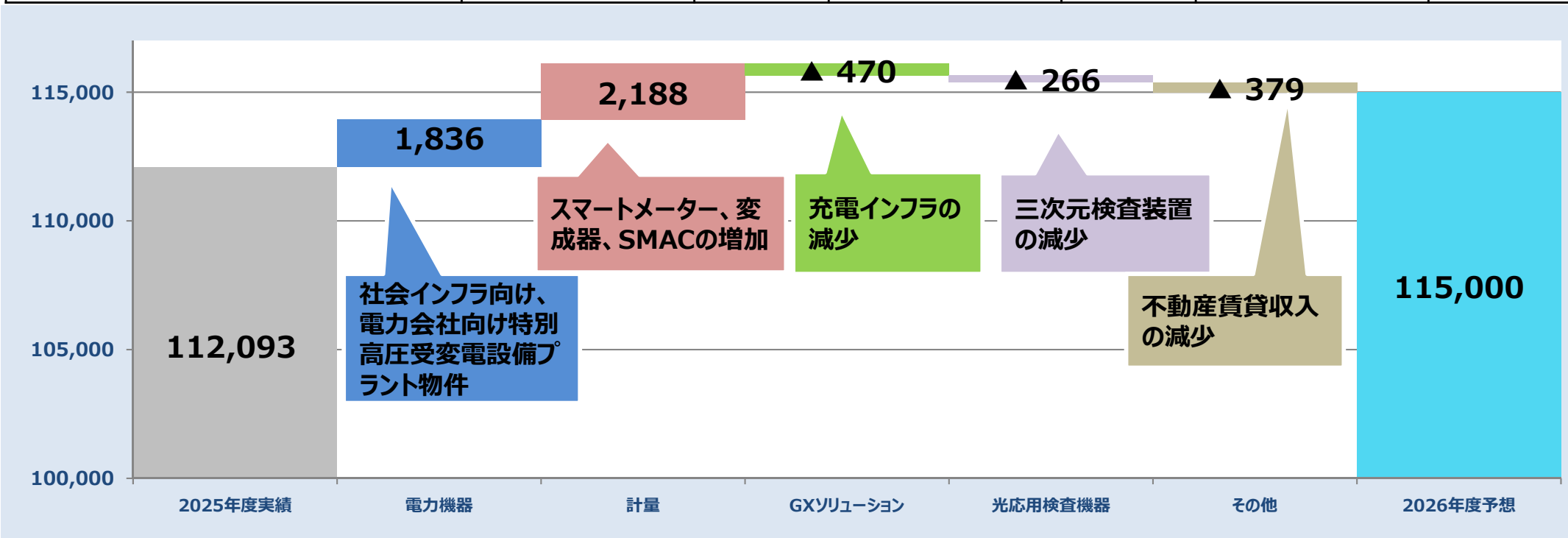
4. 2026年度 業績予想 -売上高の状況-



【セグメント別 売上高】

(単位：百万円)

セグメント名	2026年度		2025年度		前年比	
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業	65,700	57.2%	63,864	57.0%	+1,836	+2.9%
計量事業	35,400	30.8%	33,212	29.6%	+2,188	+6.6%
G Xソリューション事業	11,900	10.3%	12,370	11.0%	▲470	▲3.8%
光応用検査機器事業	1,400	1.2%	1,666	1.5%	▲266	▲16.0%
その他の事業 (不動産賃貸)	600	0.5%	979	0.9%	▲379	▲38.7%
セグメント別売上高 合計	115,000	-	112,093	-	+2,907	+2.6%



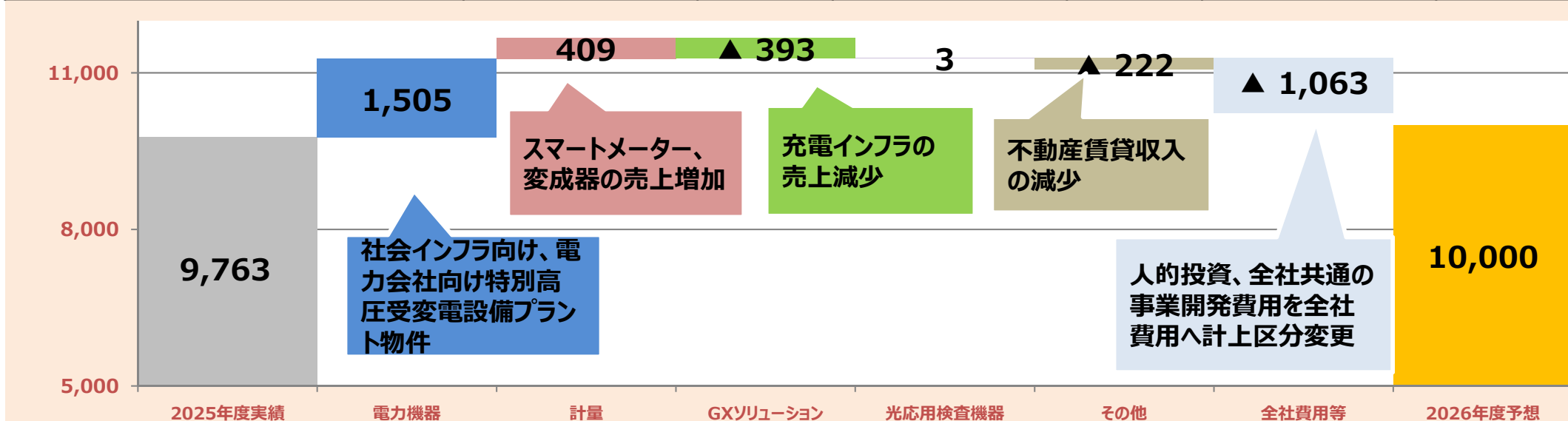
4. 2026年度 業績予想 – 利益の状況 –



【セグメント別 利益】

(単位：百万円)

セグメント名	2026年度		2025年度		前年比	
	金額(A)	利益率	金額(B)	利益率	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業	11,100	+16.9%	9,595	+15.0%	+1,505	+15.7%
計量事業	5,000	+14.1%	4,591	+13.8%	+409	+8.9%
G Xソリューション事業	100	+0.8%	493	+4.0%	▲393	▲79.7%
光応用検査機器事業	100	+7.1%	97	+5.9%	+3	+3.1%
その他の事業（不動産賃貸）	400	+66.7%	622	+63.6%	▲222	▲35.7%
セグメント別利益 合計	16,700	+14.5%	15,400	+13.7%	+1,300	+8.4%
全社費用等（連結調整含む）	▲6,700	-	▲5,637	-	▲1,063	-
営業利益	10,000	+8.7%	9,763	+8.7%	+237	+2.4%



5. 配当の状況

- 当社は、配当金額につきましては、配当方針に基づく業績連動型を基本とし、連結ベースでの連結配当性向30%を目安として決定することとしております。
- 当期の業績は、前回予想を上回る結果となりました。当該業績には、土地売却益が含まれておりますが、期末配当金の算定にあたっては、「非経常的な要因により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合には、その影響を考慮して配当金額を決定する」という当社の配当方針に基づき、当該非経常的な要因を除外して算定しております。その結果、公表済みの配当予想から25円増配し、1株当たり83円といたしました。なお、当期の年間配当額は、1株当たり120円となります。

	1株当たり配当金額		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 37.00	円 銭 58.00	円 銭 95.00
当期実績	円 銭 37.00	円 銭 83.00	円 銭 120.00
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	円 銭 25.00	円 銭 25.00	円 銭 50.00

6. 受注高の状況



電力機器事業 2025年度は、社会インフラ向け受変電設備の引き合いが好調に推移し、電力会社向けガス絶縁開閉装置や蓄電所など関連の大型案件の獲得により、受注高は679億円と高水準となりました。一方で、一部大型案件は仕様調整の長期化等により2026年度へ延期となりました。2026年度は、データセンターや蓄電所向け特高受変電設備を重点ターゲットとし、採算性重視で確実な受注獲得を進めます。

計量事業 2025年度は、第2世代スマートメーターの出荷減少があったものの、変成器類の受注が堅調に推移し、受注高は345億円と計画を上回りました。2026年度は、SMACの本格稼働や生産ライン刷新によるコスト競争力強化を背景に、スマートメーターの回復需要を取り込み、全電力会社での受注拡大とシェア向上を図ります。変成器分野では採算重視と原価改善を進め、収益性を伴う受注を積み上げます。

GXソリューション事業 2025年度は、EV用急速充電器は計画どおり受注を確保したものの、PPP/PFI分野での案件延期や失注により、受注高は105億円と計画を下回りました。2026年度は、前年度の反動を織り込みつつ、EMS関連を軸に受注獲得を継続します。PPP/PFI分野では、自治体・公共施設向けLED照明更新案件を中心に受注拡大を目指します。

光応用検査機器事業 2025年度は、三次元検査装置を中心に顧客の導入計画延期が続き厳しい状況となりましたが、台湾向けの受注を獲得しました。2026年度は、AIを中心とするロジック系先端半導体関連の量産化進展を背景に引き合い増加を見込みます。海外販路の拡大と新型検査装置の投入により、積極的な受注獲得に取り組みます。

(単位：百万円)

受注高の状況	対前年実績比較			対前回予想比較		2026計画比較		受注残状況			
	2025実績(A)	2024実績(B)	増減(A-B)	2025前回予想(C)	増減(A-C)	2026計画(D)	増減(D-A)	2025/3末(a)	2026/3末(b)	増減(b-a)	2027/3末予想
電力機器事業	67,880	58,274	+ 9,605	71,000	▲ 3,120	68,800	+ 920	63,442	67,458	+ 4,016	70,558
計量事業	34,524	34,377	▲ 146	34,000	+ 524	35,400	+ 876	4,649	5,960	+ 1,311	5,960
GXソリューション事業	10,454	11,397	▲ 943	11,900	▲ 1,446	11,900	+ 1,446	4,354	24,437	▲ 1,917	2,437
光応用検査機器事業	1,233	1,283	+ 49	1,200	+ 33	2,600	+ 1,367	1,330	898	▲ 432	2,098
その他の事業 (不動産賃貸)	979	978	+ 0	900	+ 79	600	▲ 379	0	0	0	0
合計	115,071	106,311	+ 8,759	119,000	▲ 3,929	119,300	+ 4,229	73,776	76,754	+ 2,978	81,054